

子供企画型 レポート

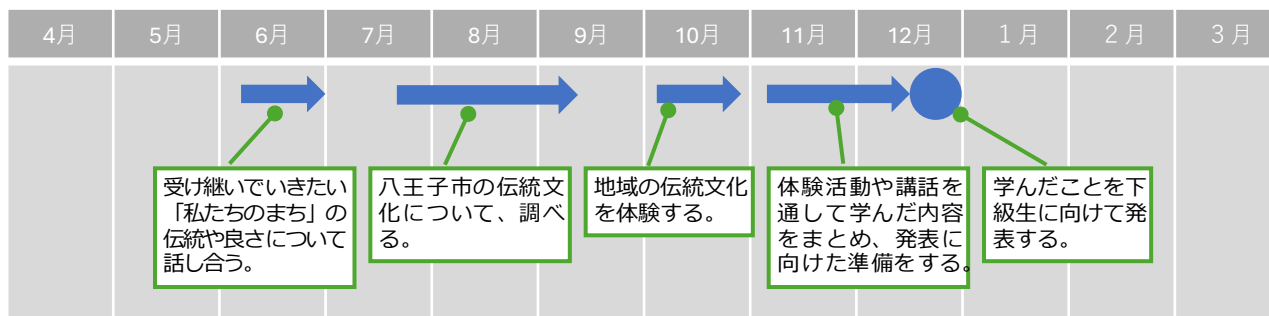
テーマ 見つけよう！伝えよう！まちの伝統文化

八王子市立元八王子小学校

教育計画上の
のねらい

- 1 見学や体験、インタビュー、資料調べなどの活動を通して、伝統文化の特色や受け継がれてきた意味を理解し、自ら課題を見つけ、調べ方を工夫しながら主体的に学ぼうとする態度を育む。
- 2 学習で得た気づきを自分の生活や地域の人々とのつながりと関連付けて考え、伝統文化の価値を理解するとともに、地域の良さや魅力に気づき、地域社会の一員として関わろうとする態度を養う。
- 3 調査した内容を整理し、自分の考えを分かりやすくまとめ、適切な方法で表現する力を伸ばす。発表や交流を通して他者の意見を生かし、課題をより深く追究する力を高める。

児童・生徒の企画内容
年間スケジュール



児童・生徒の声



企画に関わった
児童・生徒

「自分の住んでいる地域のよさについてみんなで考えるのが楽しかった。」
「地域の伝統文化についてもっとよく知りたいと思った。」
「もっとたくさんの人に私たちのまちの良さを知ってもらおう方法を考えていきたい。」

参加した
児童・生徒

「私たちの住んでいる地域にも世界に誇れるような伝統文化があつてうれしかった。」
「西川古柳先生から車人形について教えていただいて、伝統文化のすごさを味わえた。」
「調べたことや私たちの考えを下級生に伝えることができてよかった。」

取組・実践



伝統文化について調べる

自分達の住む地域の良さや、今後も受け継いでいきたいものについて話し合いを行う。話し合いを通して、八王子市には、昔から受け継がれている多くの伝統文化があることに気付いた。そこで、八王子市の文化について理解を深めようと、調べ学習を行い、自分たちの住む身近な地域に、江戸時代から続く「八王子車人形」があることを知り、車人形の体験活動を行うこととなった。



車人形の体験

五代目西川古柳先生をお招きし、車人形の特徴や動かし方、歴史についてお話をいただいた。また、実際に車人形の操作体験も実施した。体験を通して、児童は、思いどおりに動かすことの難しさを実感するとともに、車人形継承者の方々のためめぬ努力や技術の高さについて理解を深めることができた。体験後は学んだことを下級生にも伝え、引き継いでいこうとする意識が芽生え、発表の準備を主体的に進めていた。



下級生への発表

地域のすばらしい伝統文化を伝え広めていくために、車人形について改めて調べ、グループごとに発表の準備を進めた。調べた内容に加え、西川古柳先生から学んだことを整理し、伝統文化を受け継いでいくことの大切さが、下級生にも伝わるよう、話し合いを重ねた。発表後、下級生からは、「分かりやすく教えてくれた」「車人形のことを初めて知り、見てみたい。」といった感想が寄せられた。この活動を通して、児童一人一人が、地域の良さを自ら発信しようとする意欲をさらに高めることができた。

成果

- 体験活動や調べ学習を進める中で、児童には「もっと知りたい」「進んで調べたい」という主体的な学習態度が培われた。
- 車人形の操作体験では、継承者の方々の思いや願いに触れ、教科書だけでは得られない深い学びを得ることができた。また、学んだ内容を文章・写真・図などで整理し発信する活動を通して、情報を効果的にまとめ、伝える力を伸ばすことができた。
- 発表では児童が自分の言葉で地域の良さや伝統文化の魅力を表現する姿が見られ、地域や郷土を愛する態度が養われた。